

PAUL SMITH 時計 はじめに

Paul Smithは、抜群のデザインテクニックを駆使して、Paul Smith愛好家の期待を裏切らない、個性豊かな時計コレクションを生み出しました。

Paul Smith時計コレクションは、クラシック且つラグジュリアスでありながら、Paul Smithの真髄である「ツイストのきいたクラシック」を存分に感じることができます。

Paul Smith

PAUL SMITH 時計

取扱説明書

クオーツウオッチ

- 4. プレーン(2針/3針)
- 6. ビッグ・デート(日付つき)
 デイ&ビッグ・デート(曜日/日付つき)
- 8. クロノグラフ
- 13. 電池

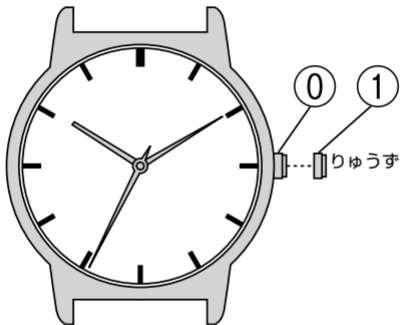
メカニカルウオッチ

- 14. 機械式(自動巻)
-

- 16. 皮革バンドの長さ調節
(位置決めピンタイプ)
- 17. 時計のお手入れと管理

クォーツウォッチ

プレーン(2針/3針)



PAUL SMITH WATCH

1. りゅうず位置①

通常はこの位置で使用します。

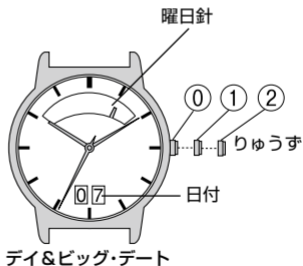
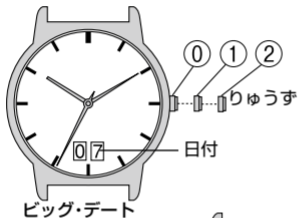
2. りゅうず位置②

りゅうずを回して時刻を合わせます。

注意:

- 機種によって、電池切れが間近になると、秒針が4秒ごとに動きます(電池寿命切れ予告)。この状態になりましたら早めに電池を交換してください。
- りゅうずの出し入れの際に秒針が振れる場合があります。これは機構的なもので不良ではありません。秒針がずれた際は、合わせ直してください。

ビッグ・デート(日付つき)
デイ&ビッグ・デート(曜日/日付つき)



PAUL SMITH WATCH

1. りゅうず位置①

通常はこの位置で使用します。

2. りゅうず位置①

りゅうずを回して日付を合わせます。

- ビッグデートの場合は、りゅうずを時計回り(右回り)に回すと日付が変更できます。
- デイ&ビッグデートの場合は、りゅうずを反時計回り(左回り)に回すと日付が変更できます。
りゅうず位置②で、時刻と曜日を合わせた後に合わせてください。

3. りゅうず位置②

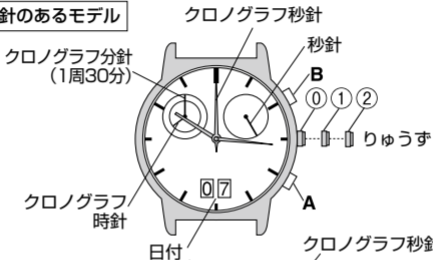
- 時刻を合わせます。
- りゅうずを時計回り(右回り)に回すと曜日針も同時に修正できます。(デイ&ビッグ・デート)

注意:

- 日付と曜日は午前0時付近で切り替わります。時刻を合わせるときは、午前と午後を間違えないようご注意ください。針を進めて日付が切り替わったのを確認してから合わせると確実です。
- 午後1時から午前1時は時計が日付/曜日の表示を切り替える時間帯です。この時間帯での修正は避けてください。
- 2月、4月、6月、9月、11月では、翌月の始めに、カレンダー合わせが必要です。

クロノグラフ

秒針のあるモデル



秒針のないモデル



PAUL SMITH WATCH

1. りゅうず位置①

通常はこの位置で使用します。

2. りゅうず位置①

りゅうずを時計回り(右回り)に回すと日付が変更できます。

3. りゅうず位置②

時刻を合わせます。

注意:

- 午後9時から午前1時は時計が日付の表示を切り替える時間帯です。この時間帯での日付の修正は避けてください。

<クロノグラフの使い方>

12時間計です。

Bボタン(スタート/ストップボタン)

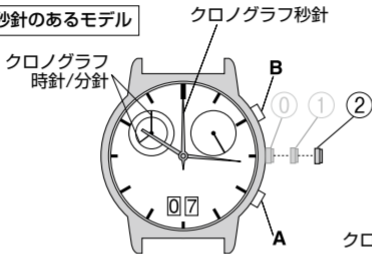
計測を開始・停止・再開します。

Aボタン(リセットボタン)

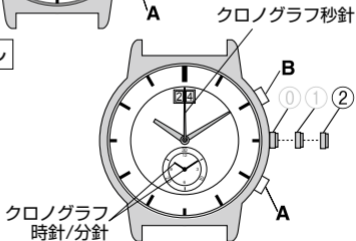
- 計測中に押すと、押した時点までの経過時間を表示します。もう一度押すと、針が最新の経過時間に追いつき、運針を続けます。
- 計測停止中に押すとクロノグラフの針をリセットします。

クロノグラフ

秒針のあるモデル



秒針のないモデル



PAUL SMITH WATCH

＜クロノグラフ針が0位置に戻らないときには＞
電池交換の後や強い衝撃を受けた後などに、クロノグラフ時針・分針・秒針が0位置(真上)に戻らなくなったときは、以下の手順で針の位置を0位置に合わせてください。

1. りゅうず位置を②にする
2. BボタンとAボタンを同時に2秒以上押す
クロノグラフ秒針が1回転して、針の位置が修正できるようになります。
3. Bボタンを押す
クロノグラフ秒針が動きます。
 - ・くりかえし押すと針が1ステップずつ動きます。
 - ・押し続けると針が動き続けます。
4. Aボタンを押す
5. Bボタンを押す
クロノグラフ時針とクロノグラフ分針が動きます。
 - ・くりかえし押すと針が1ステップずつ動きます。
 - ・押し続けると針が動き続けます。
6. りゅうず位置を①にして修正を終了する

注意:

- クロノグラフ秒針を通常の秒針として使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

電池

時計の電池が切れた場合、速やかに交換してください。

ご自分で電池交換をすると、保証が無効になります。

注意：

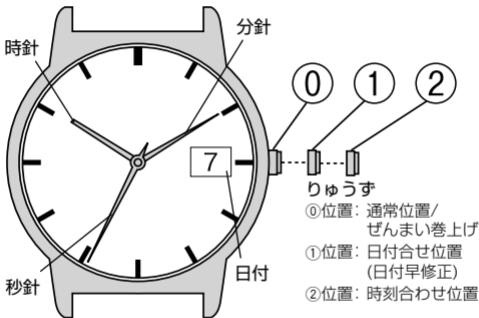
- 切れた電池を充電しようとししないでください。
- 使用済みの電池を火中に投じないでください。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。

機種によって、電池がまもなく切れることを警告する機能が組み込まれているものがあります。秒針の動きが1秒ステップではなく4秒ごとのステップになりましたら速やかに電池を交換してください。

電池切れや、液漏れなどの電池の不具合によって生じた損傷は保証の対象外です。

メカニカルウォッチ

機械式(自動巻)



- りゅうずが①位置のときにりゅうずを右に回すと、ぜんまいを巻き上げることができます。
- りゅうずを右に約70回まわすと、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態になります。持続時間は、十分に巻き上げられた状態から約42時間です。

PAUL SMITH WATCH

1. りゅうず位置①

通常はこの位置で使用します。

2. りゅうず位置①

りゅうずを反時計回り(左回り)に回すと日付が変更できません。

3. りゅうず位置②

時刻を合わせます。

- このとき、針は停止しています。

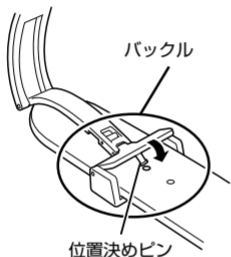
注意:

- 午後9時から午前1時は時計が日付の表示を切り替える時間帯です。この時間帯での日付の修正は避けてください。

精度(1日の進み遅れ)について

- この時計の精度(1日の進み遅れ)は、約±30秒です。
なお、機械式時計の特性上、使用条件(携帯時間、ぜんまいの巻き上げ状態、時計の使われる姿勢(縦姿勢や平姿勢など)、温度環境、衝撃の影響など)により、1日の進み遅れは精度範囲を超える場合があります。

皮革バンドの長さ調節 (位置決めピンタイプ)



バンドの長さの調節は以下の手順で行います。

1. バックルを開く
2. 図のように革バンドをバックルに通す
3. バンドが適切な長さになるところでバックルの位置決めピンを革バンドの穴に差し込む
4. バックルを閉じる

腕につけて、バックルを金属バンド側にとめたときに、多少ゆとりのある長さになっていれば長さの調節は終了です。

※ モデルにより、このタイプのバックルが使われていないことがあります。

時計のお手入れと管理

- 信頼をおける性能を保つために、2～3年毎に保守作業（有料）を受けてください。
- 時計を長時間にわたり直射日光に当てたり高温(60℃以上)の場所に置くのはやめてください。
- 時計の本体、ガラス、革バンドやブレスレットに汚れや水分が付いた場合、柔らかい布で拭き取ってください。
- ごみや汚れは、かぶれの原因になりますので、ふだんからごみ、汚れなどを落とし、清潔にしてご使用下さい。
- 本体とブレスレットは定期的にお手入れしてください。(特に塩水がかかった場合に重要です。)歯ブラシとぬるめの石鹸水で掃除すると一番簡単です。この後、柔らかい布で完全に水気を拭き取ってください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 時計のガラスに傷や割れ目が出た場合、文字板やムーブメントへの損傷を防ぐために、直ちに交換をご依頼ください。

時計のお手入れと管理

- りゅうずは常にしっかり押しはめてあることを確認してください。水分や埃の浸入を防ぐために重要です。
- 一部の機種は、りゅうずがねじロック式になっています。りゅうずの操作をする前に、りゅうずを反時計回り(左回り)に回してロックを解除してください。操作が終わった後はりゅうずを押し込みながら時計回り(右回り)に回してりゅうずをロックしてください。
- 時計が濡れた場合は、「WATER RESISTANT」と記されている機種でもボタンを操作しないでください。
- 皮革バンドが付いている場合は、水がかからないようにしてください。

時計のお手入れと管理

- 強力な磁場を避けてください。通常の使用状況では、テレビやステレオなどの家庭用電気器具の磁場から影響を受けることはありませんが、磁気ネックレス、磁気健康腹巻などの強い磁気を持つ健康器具や冷蔵庫のドアマグネット、バッグの留め具や携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。
- クオーツウオッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますのでご注意ください。
- 防水性が失われる場合やストラップや本体に損傷が及ぶ場合があるため、アルコール類、石油や香水との接触を避けてください。
- 化学薬品、溶剤やガスのある場所では時計をつけないでください。シンナー、ガソリン、マニキュアなどにより変色や溶解などを起こします。
- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

